

# 令和3年度藤沢市地産地消推進事業実行委員会事業報告書

## 1 事業概要

平成31年4月から第4期藤沢市地産地消推進計画が新たにスタートし、今年度は3年目で最終の年となる。今まで継続してきた藤沢産農水産物の旬のおいしさ、魅力を市民に伝え、市内流通の促進、藤沢産農水産物の知識・理解を深め地産地消の推進を図ることについては、令和3年度も継続した。

事業としては、第4期藤沢市地産地消推進計画の重点的に取り組む施策である「藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化」「藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化」「地産地消の普及啓発・健康施策との連携強化」を中心に実施した。

## 2 地産地消実行委員会の予算を伴う事業について

### (1) イベントへの参画・実施

#### ア 地産地消イベント事業

##### みなと春マルシェ

本イベントは、農畜水産物の販売農・畜・水を一体としたイベントを開催し、藤沢産農水産物に対する理解を深めるとともに、地産地消の推進を図ることを目的として実施した。

- ・実施時期：2022年（令和4年）3月13日
- ・開催場所：片瀬漁港、市民交流広場
- ・来場者数：2,794人（延べ人数）



【当日の様子】

#### イ 「ふじさわ元気バザール」等地産地消イベント事業

2018年6月から毎月第2土曜日に、藤沢駅北口サンパレット（現在はサンパール広場）において、市内の新規就農者及び農業後継者による農産物の販売「ふじさわ元気バザール～藤沢野菜市～」を開催している。この取り組みは、新規就農者等の定着促進と藤沢産農水産物のPRを目的として、藤沢商工会議所と市の産業労働課、農業水産課が連携して実施している事業である。

このイベントの中で、藤沢市地産地消推進事業実行委員会も連携し、野菜等の販売と併せて藤沢産農水産物のPRを行った。

(ア) 10月9日(土) 11時～15時

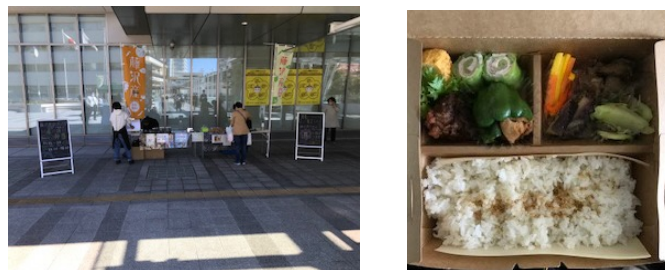
エコバックを持参して藤沢野菜市で購入していただいた方、先着200名に藤沢産ビオラを配布するとともに「おいしい藤沢産ホームページのチラシ」を配布した。



【当日の様子】

(イ) 地産地消弁当販売事業(元気バザールでの新米配布代替事業)

11月15日(月)～11月30日(火)までの月曜日から金曜日まで(祝日は除く)各日11時～14時までの3時間で市役所サンセット広場にて藤沢産利用推進店テイクアウト部会連絡協議会と連携して藤沢産新米(品種:はるみ)及び農水産物等を使用した弁当販売を実施した。



【当日の様子及び販売した弁当】

ウ 花育体験イベント事業 12月4日にサンライズ広場にて実施

子どもを対象に花の寄せ植え体験を実施し、寄せ植え体験と生産者との交流を通じて、藤沢の花きに対する知識や理解を深めてもらうことにより地産地消の推進を図った。



【当日の様子】

## (2) 藤沢産農水産物の普及啓発

### ア PR用ミニのぼり旗等の作成

藤沢産農水産物の需要拡大及び旬の農水産物のPRのため、わいわい市や量販店等において「藤沢産」のミニのぼり旗を設置した。



【作成したミニのぼり旗等】

### イ 「藤沢産」ロゴマークシール（QRコード付）の作成

現在、無償配布を行っている「藤沢産」ロゴマークシールの周りにリニューアルを行った「おいしい藤沢産」ホームページのQRコードを載せ、それを読み取った消費者に対して藤沢産農水産物に関する情報を発信することで地産地消の普及啓発を図った。



【作成したロゴマークシール】

### ウ 藤沢産利用推進店PR用「食べ歩きマップ」の作成

「食べ歩きマップ（日本語版）」を作成し、藤沢市内のホテル等に配架してもらい、藤沢産利用推進店のPRを行った。

- ・ マップ作成エリア：藤沢駅周辺（2,000部）、片瀬江ノ島駅・鵜沼海岸駅周辺（1,500部）



【作成した食べ歩きマップ】

## エ ふりふりバター体験事業 10月19日天神小学校にて実施

(対象学生 5年生 71人)

市内小学校において、市内で搾乳された牛乳等を使用したバターづくり体験事業を実施し、市内畜産業への理解促進、地産地消及び食育の推進を図った。

※同日にやまゆりポーク生産者協議会と連携して畜産の授業も実施。

## オ 市役所本庁舎等における花きのPR 8月・12月実施

市役所本庁舎等において、季節の藤沢産花きを展示し、コロナ禍の影響を受けている花きのPRを行った。

## カ PR用動画の作成

2月に藤沢産サンセットマルシェの様子を撮影し、編集をして3月にYouTubeに公開をした。

藤沢産農水産物を紹介するPR動画作成し、藤沢産農水産物への理解を深めてもらい、地産地消の推進を図った。



【YouTubeの公開状況】

## キ 果樹直売所用ダンボール作成

さがみ農協藤沢市果樹部と連携し、藤沢産ロゴマーク入りのダンボールを作成し、藤沢産果樹のPRを行った。

## 3 地産地消実行委員会の予算を伴わない事業について

### (1) 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化

#### ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での藤沢産農水産物等の供給及び活用

弁天橋の植栽に片瀬市民センターが事務局をしている「弁天橋花いっぱい愛好会」等と連携しポーチュラカやマリーゴールド等を定植した。

## イ 藤沢産利用推進店の充実

藤沢産利用推進店登録店舗数の増加及び藤沢産利用推進店における藤沢産農水産物等の需要拡大に向け、新たに市のホームページ等において、藤沢産農水産物等の入手先情報を発信し、生産者と既存の藤沢産利用推進店や新規の藤沢産利用推進店に登録してもらえるよう飲食店等とのマッチングを図った。

## (2) 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化

### ア 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用

2021年12月6日～10日の間で実施

保育園における藤沢産農水産物等の利用促進を図るため、昨年度試行的に新米給食を実施した俣野保育園を新たにモデル園に設定し、新米と大豆を使用したふじさわランチを実施した。

※御所見・亀井野・俣野・中里小学校では通年活用されている。

### イ 藤沢産農水産物等の使用状況及び生産者との交流状況の調査

市内小学校における直接契約による農水産物の使用状況の調査と市内小学校及び保育園における地産地消に関する授業等の交流状況を調査した。

## (3) 地産地消の普及啓発・健康施策との連携強化

### ア 健康寿命日本一をめざす取組との連携

健康づくり課が健康施策として実施する「ふじさわ夢チャレンジ～ふじさわ歩くプロジェクト～」と連携し、地産地消のPRを実施した。

### イ 農水産物ふれあい交流イベントの開催（市等の関係団体が実施）

消費者と生産者が「顔が見える」関係を構築することは、消費者と生産者の相互理解につながるため、農水産物ふれあい交流イベントを開催し、消費者と生産者の交流促進に努めた。

#### (ア) 実施したイベント

- a 藤沢産サンセットマルシェ(毎週水曜日・金曜日)
- b 果樹持寄り品評会(8月)

#### (イ) 新型コロナウイルス感染症の影響で中止としたイベント

- a 春の畜産まつり(5月)
- b 植木品評会(10月)
- c コスモスの摘み取りイベント(10月)
- d 畜産ふれあいまつり(10月)



e かながわトントンまつり（11月）※県養豚協会主催

f 園芸まつり農産物品評会（11月）

g 湘南花の展覧会（2月）

#### ウ 地産地消講座の開催（市等の関係団体が実施）

藤沢産農水産物等に対する知識・理解を深めてもらい、地産地消の重要性を伝えるため、講座を開催した。

##### （ア）実施した講座

##### a 地産地消講座（栽培収穫体験型講座）

「大豆」をテーマに全7回の開催で、19名が参加

実施日：7月17日（土）、7月31日（土）、8月30日（月）、9月11日（土）、

10月16日（土）、11月13日（土）、11月29日（月）

##### b 地産地消講座（収穫体験型講座）

	開催日	場所	テーマ	申込	参加者
1	7月22日（木）	湘南佐藤農園	トウモロコシと湘南ポモロンを収穫しよう	644人（219組）	62人（24組）
2	10月23日（土）	安田果樹園	藤沢産のリンゴとカキを収穫しよう	1255人（403組）	25人（8組）
3	3月5日（土）	井出農園 長谷部農園	藤沢産のトマトとイチゴを収穫しよう	1503人（471組）	25人（7組）



【7月22日（木）の様子】

以上